

・ 7月29日(火)、第40回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会への出場報告のため、清水エスパルスジュニアユース三島に所属する、清水中学校3年生の内田湊斗（うちだみなと）選手と梅野湖大（うめのこだい）選手が来庁され、町から奨励品をお渡ししました。

清水エスパルスジュニアユース三島の皆さまは、6月に開催された東海大会で東海地区第5代表の座を勝ち取り、8月15日(金)から北海道札幌市で開催される全国大会への切符を手に入れました。

内田選手と梅野選手、チームの皆さまの日々の絶え間ない努力に心から敬意を表するとともに、全国大会でのご活躍を大いに期待しております。



・ 7月28日(月)、第71回全国高等学校フェンシング選手権大会の出場報告のため、三島北高校2年生の鈴木輝愛選手、宮垣わこ選手が来庁されました。

お二人の県大会での活躍を耳にし、非常に嬉しく感じているとともに、これから行われる全国大会に期待が高まっているところです。

全国大会でのご活躍を期待し、また、素晴らしい報告を聞くことができることを楽しみにしております。



・ 7月12日(土)、「シフティーンpresents清水町ふるさと大使就任記念LLPW-X女子プロレスinゆうすい夜市」を柿田川公園で開催しました。

本イベントは、女子プロレスラーの神取忍さんと井上貴子さんが町のふるさと大使に就任したことを記念して開催し、公園内に設置された特設リングでは、会場を熱気に包み込む激闘が繰り広げられました。

神取さん、井上さんをはじめとする女子プロレスラーの皆さま、協賛いただいた企業様、出店いただいた事業者様、本イベントの運営にご協力いただいた全ての皆さまに心から感謝申し上げます。



・ 7月9日(水)、まち・ひと・しごと創生外部有識者会議を開催しました。

本会議は、平成27年度から設置し、町の総合戦略の効果的な実現を図るため、第6期目となる今期も各界各分野から11名の委員の皆さまに委嘱状を交付させていただきました。公私ともに大変お忙しい中、有識者の皆さまにご就任いただき、大変心強く感じております。

今後も地域の課題解決と目標達成に向け、忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。





・ 7月8日(火)、伊豆半島ジオパークのユネスコ世界認定に関する柿田川公園での再認定審査（現地調査）に立ち会いました。

伊豆半島ジオパークは、2018年にユネスコの世界ジオパークに認定され、4年ごとに再認定が行われます。

柿田川公園を訪れた中国人とインドネシア人の審査員に対して、ジオガイドが柿田川の地質や地形、保護活動の様子、貴重な生態系などについて説明しました。

審査結果は9月に発表される予定です。



・ 7月1日(火)と8日(火)に令和7年度広聴事業「くるま座懇談会」を開催しました。

この懇談会は、第5次清水町総合計画の将来都市像「くらしやすさで未来をともにつくるまち・清水町」の実現に向けて、「清水町をもっとくらしやすいまちにしよう！」をテーマに、参加者の皆さまと膝を突き合わせて率直に対話をする機会として実施しました。

懇談会には、第1回と第2回合わせて17人の方々にご参加いただき、「くらしやすいと感じること」や「くらしにくいと感じること」などについて意見交換を行いました。

本懇談会でのご意見は、現在策定中の第5次清水町総合計画・後期基本計画にも活用させていただきます。

